



# はなのき

神坂小学校だより No.4 2021.06.21



## 幼・小・中の12年間を支える教育

校長 高橋 浩之

幼稚園・小学校・中学校が隣接しており、「神坂学校」として一緒に行事や活動を行っています。連携を密にして、12年間の成長を見通し、様々な生きる力を養えるよう工夫しています。このような学校は県内でも珍しく、校舎はもちろん運動場やプール、給食調理場が共用となっている環境が交流を深める要因の一つでもあります。

4月から、命を守る訓練や交通安全教室（自転車指導）、プール掃除を合同で実施しました。命を守る訓練では、幼・小・中が「おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない」を合い言葉に、自分の命は自分で守ることをテーマとし、避難路の確認を兼ねて行いました。中学生はいち早く集合して、幼稚園、小学校が揃うのを静かに見守ってくれました。その後、全体指導を行い、幼稚園・小学校・中学校それぞれ分かれて、発達段階に合う反省をしました。



また、プール掃除では、午前中に小学生が時間を分けて掃除を行いました。大きな汚れや枯れ葉などをがんばって取り除きました。午後からは中学生が隅々まで美しくしてくれました。その姿を校舎から見ていた小学生からは、プールで作業している中学生に向かって「ありがとうございます」とお礼を伝えていました。微笑ましく、温かい光景に、これこそ「神坂学校」のめざす姿だと実感しました。

このような姿を増やしていこうと、園・学校でのそれぞれの会議とは別に、月に一度は、幼・小・中の職員が集まり討議し、時には全職員で取組について話し合います。先日も、あいさつ運動や授業中の発言の仕方などについて話し合いを行いました。現状を把握し、発達段階に応じて、どのような手立てが必要かを考えました。あいさつ運動では、時間帯が違うため、一緒に活動は難しいかもしれませんが、どんな挨拶を目指していくかを議論し、子供達が達成感を味わえる活動を工夫改善しています。また、互いの教師の経験もいかしています。小学校には2名の中学校の先生が来ていただいています。小学校からも2名の先生が教えに行っています。専門教科の先生が教えることで、子供達の理解力や思考力を高めることができます。

今後も、幼稚園・小学校・中学校が交流を密にして、神坂の子供達の成長を支えていきたいと思えます。引き続きご理解とご協力をお願いします。

まん延防止等重点措置が解除されましたが、心配はつきません。これからは暑くなることで熱中症も気をつけなくてはなりません。様々な対策を行っていきます。引き続き保護者の皆様、地域の皆様のご協力をお願いします。